高校神奈川

発行人　馬鳥　敦
編集人　峰尾　正一
横浜市西区藤棚町2の197
高校教育会館内
ＴＥＬ　045(231)2479
ＦＡＸ　045(231)2536
http://www.fujidana.com

戦争法案廃案！　安倍政権退陣！　8.30国会10万人・全国100万人大行動

12万人国会周辺包囲

「神高教」過去最大218人が怒りの大結集

安保関連（戦争）法案に関する質疑で、政府は曖昧かつ矛盾の多い答弁に終始し、法案の不当性が一層明らかになっています。

この法案を阻止するため8月30日、国会周辺には12万人、全国の同時行動に数十万人規模が参加し「戦争法案絶対反対」の声を上げました。

（撮影・今井　明さん）

参議院で審議中（9／8時点）の安保関連法案に反対する市民・労働者による抗議行動が30日に行われ、永田町の国会議事堂や霞が関、日比谷周辺まで人であふれました。

雨の中、子ども連れの親、戦争体験者などさまざまな世代や立場の人々12万人が国会一帯を埋め尽くしました。同法案に対するこの抗議行動は、これまでのとりくみの中で最大規模となりました。

神高教は、「教え子を再び戦場に送るな」の決意の下、悪天候にもかかわらず、確認できた方だけで、過去最大の218人が参加しました。同じ思いで参加された多くの市民・労働者と「戦争法案絶対反対」と声がかれるまで国会に叫び続けました。

また、国会包囲行動に先立ち、有楽町駅頭で日教組街宣行動にとりくみました。神高教平和運動推進委員会・神高教シニア運動のメンバーが中心となり、安保関連法案廃案を街行く市民に訴えました。

2年連続月例給（平均1469円）ボーナス（0.1月分）ともに引上げ！

2015国人勧出る！

人事院は8月6日、内閣と国会に対して①民間給与との較差（0.36%）を埋めるため、俸給表の水準と地域手当の支給割合を引き上げるとともに、②ボーナスを引上げ（0・1月分　勤勉手当に配分）等の勧告・報告などを行いました。高齢雇用に関して、特に定年延長についての言及はなく、再任用職員の給与についてひきつづき必要な検討を行うとしました。配偶者の扶養手当に関しては、今回見直しは行わず、引き続き検討としました。

人勧は、国家公務員の給与に関する勧告ですが、地方公務員給与にも大きな影響を与えます。神奈川県人事委員会勧告は例年10月に行われ、国人勧をふまえ、神高教は県労連に結集し、ひきつづきとりくみを強化していきます。

再任用の療休10日から90日に拡大

短時間勤務　1／2、3／4も同様2016年度から運用

県労連は、８月18日、８月28日に労務担当局長との幹事団交渉を行いました。昨年度の県労連確定闘争の積み残し課題で、2015春闘交渉で要求していた「高齢雇用者の療養休暇の保障」について、９月７日の県労連幹事団交渉において決着しました。

再任用職員の療養休暇を大幅に拡大し、常勤職員と同様の90日に延長する内容で、短時間の再任用者にも適用されます（1／2、3／4再任用者も90日）。施行期日は、2016年４月１日です。

県立高校改革・実行計画（素案）の概要を公表

教育長は、９月10・11日の県議会本会議で、以下の内容を明らかにしました。

○計画期間は、2016年度を初年度として2027年度までの12年間（第Ⅰ～Ⅲ期）を設定する。
○再編・統合は全県を５地域に分け、高校のタイプや学力の状況、通学の利便性等に留意し、校舎の老朽化や地域づくりの視点からも検討する。
○再編・統合の規模は、生徒数動向とそれに対応した学級数を基に推計し、現時点では、計画全体で概ね20から30校程度の削減を見込んでおり、Ⅲ期の実施計画策定時に必要な見直しを図る。Ⅰ期計画（最初の４年間）の対象校名は、12月の県議会に報告する予定。
○クリエイティブスクールは、県央と県西にそれぞれ１校を増設する方向。
○インクルーシブ教育にとりくむパイロット校を３校程度指定し、17年度から障がいのある生徒を一定数受け入れる。実践推進校を27年度までに段階的に20校程度まで拡大する。
○これまでの「学習状況調査」を見直し、本県独自の新たな学力調査を実施する。

県教委は、今年１月に公表した「基本計画」で、学校規模については「現行の標準規模以上にすることが望ましい」「それぞれの学校や生徒の実態に応じた学校規模とすることを検討します」としていました。

神高教は、６月の教育改革要求で、①全日制高校進学率の拡大をめざし、県立高校定員枠を拡大すること、②原則として現行の適正規模（１学年６～８学級）を維持すること、③様々な課題をもつ生徒の在籍校では30人以下学級を実現すること、④耐震補強工事の早期完結、老朽化対策の改修・改築を推進すること、⑤専門高校の施設・設備の改善を計画的に推進すること、などを要求しています。

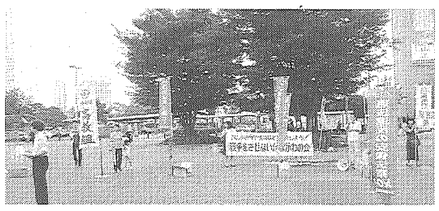
前回の再編（2000～2009）は約６万人の生徒減に対して25校の減でしたが、今後の生徒減が約8,000人であることを考えると、今回発表された削減見込み数は、非現実的です。年末の「県立高校改革・実施計画」策定にむけて、神高教は、教育の質の保障を求め、学校現場の観点から意見反映を行い、再編・統合による削減校数を少なくすることを強く求めていきます。

●安保関連法案　神奈川街頭行動に105人参加

若手組合員ら45人参加

安保法案（戦争法案）廃案にむけて９月１日、神奈川平和運動センターを中心に、JR桜木町駅周辺にて、市民ボランティア・労働組合が参加し広く市民に訴えるとりくみが行われました。

９月１日午後５時30分、神奈川平和運動センター小原事務局長の「安保関連法案成立阻止、政府の強行採決を許さない。違憲である安保関連法案の中身を皆さんとともに考えましょう」との発言で、戦争法案を廃案を求める神高教オリジナルうちわ等を高校生、勤め帰りの会社員、子ども連れの方など多くの市民に配布しました。



当日は、105人の参加があり、午後７時まで時折雨がぱらつく場面もありましたが、ポケットティッシュ5000個、神高教オリジナルうちわ1500個を配り終えることができました。

新学期の忙しい中、神高教から若手組合員を含め45人の参加がありました。港北分会からも６人参加していただきました。

●神高教オリジナルうちわ作成

戦争法案を廃案に！

昨年７月、集団的自衛権の行使にむけ憲法解釈を変更する閣議決定を強行してから、「９条守れ！」、「戦争法案阻止！」、「安倍政権は直ちに退陣！」と大きな声をあげ、さまざまなとりくみを展開してきました。

これまで、多くの集会やパレードに参加した組合員から、神高教として、「何かアピールするものが欲しい！」との要望を受け、「戦争法案を廃案に！神高教オリジナルうちわ」が完成しました。

うちわのイラストは、橋本喜代枝さん（神奈川工業分会）にデザインしていただきました。今後、集会等でお配りします。ぜひ、活用してください。